

**学校名** 鴻巣市立鴻巣中央小学校  
**所在地** 鴻巣市中央30-1  
**電話** 048-543-7111

## 1 本校の概要

本校は1994年（平成6年）に開校した。「友と学ぶ子心の豊かな子 体をきたえる子」の教育目標のもと、370名の児童が34名の教職員とともに日々学業に励んでいる。令和2年度に鴻巣市ICTパイロット校の指定を受け、児童一人一台の学習用端末を配布し、ICTを活用した授業を積極的に取り入れている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

鴻巣市では学校図書館支援員が各校に配置されている。学校図書館支援員が中心となって、学校図書館の利用の仕方、児童が読書に親しむための取組・展示など、学校図書館の環境整備を行っている。

#### ア 日本十進分類表に基づいた本の配置

生涯学習の一つとして図書館の使い方を児童に学んでほしいとの思いから、日本十進分類表に基づいて本を配置している。年度当初に、国語の学習と連携して各学年で学校図書館の使い方を学び、学校図書館の本が分類ごとに並んでいることを確認する。学校図書館マップ、日本十進分類表の掲示を行い、また、本棚に分類表示を差し込んだ。これにより、児童は分類を意識しながら本を選んでいる。



### イ 児童が読書に親しむための取組

各学年の目標冊数（高学年は目標ページ）に到達した児童は、学校図書館廊下側にある「読書の木」に名前を掲示するという取組を行っている。緑は「青りんご」といって目標冊数の半分に到達した児童が貼る。赤りんご（目標冊数）、銀りんご（目標冊数の1.5倍）、金りんご（目標冊数の2倍）と読んだ数が増えるごとに色が変わる。（写真1）

特集コーナーでは、児童の興味をひくように季節に合った本を展示している。（写真2）

教職員のおすすめ本コーナーを設置している。児童は興味深そうに手に取って読んでいる。（写真3）



写真1 読書の木



写真2 特集コーナー



写真3 教職員おすすめ本

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ・年度当初に学校図書館の使い方を学習したことで、学校図書館内の掲示を見ながら、児童は「〇〇についての本が読みたいからこの棚で探そう」と十進分類に基づいて本を探すことができるようになった。
- ・「読書の木」の取組によって、児童が本を読む冊数は増えている。

### (2) 課題

貸出冊数は増えているが、学校図書館で本を借りる児童、積極的に読書をする児童は限られている。今後は、より多くの児童が学校図書館に来るよう掲示物の工夫等を行っていきたい。